



葉山小だより

「自分で考え 行動する子」「仲良くする子」

令和5年度
No. 2

2023. 4. 12

葉山町立葉山小学校
校長 安達 禎崇

「葉山小だより」はペーパーレス化を行っています。

- ★ 葉山小学校のホームページをご覧ください。
- ★ 紙媒体での提供を希望される方は担任までお申し出ください。

校庭の周りには桜に代わってツツジが咲き始めました。新しい学年を元気よくスタートさせた子どもたちを応援してくれているようです。1年生もだいたい学校生活に慣れ、学校全体が活気づいてきたと感じます。

さて、本年度の『学校教育目標』等について、学習指導要領及び、葉山町の「9年間を見通した育てたい葉山の子ども像」に基づき次のように掲げ、子どもたちの健やかな成長に向けて学校教育を進めてまいります。

保護者の皆様や地域の方々には、本校の教育方針をご理解いただき、ご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

1. 9年間を見通した 育てたい葉山の子ども像

多様性を認め合い 夢の実現に向かって 主体的に学び続ける葉山の子ども

2. 学校教育目標

「自分で考え 行動する子」(主体的に学び続ける葉山の子ども)

「仲良くする子」(多様性を認め合い夢の実現に向かって学び続ける葉山の子ども)

◆ 目指す子ども像

考える子……自らよく聞き、よく考え、創意と工夫で変化に対応していく子(かしこく)

行動する子……主体的に行動し、最後までやりぬく子(たくましく)

仲良くする子……思いやりの心を持ち、助け合い・励ましあい、お互いを認め合う子(やさしく)

◆ 目指す教師像

・幅広い視野と豊かな人間性を持ち、児童一人ひとりの良さや可能性を伸ばそうとする教師

・「チーム葉小」を意識し、組織的に取り組み、ともに高め合おうとする教師

・教育公務員としての自覚と使命感を持ち、保護者・地域から信頼され、親しまれる教師

3. 学校運営方針

(1) 児童が「葉山小で学んで良かった」と思える学校

①一人ひとりの児童を認め、励まし、良さを引き出せるように努める学校。

②仲間との関わりを通じて、コミュニケーション能力など人間関係調整能力を育てる学校。

③学校行事や特別活動等を通して、協力すること、責任をもって最後までやり抜くことの大切さを学ばせるとともに、違いを含めた互いを認め合う心や、思いやりの心を育む学校。

④学校生活の決まり・約束を尊重する態度を育て、社会性や協調性を育む学校。

⑤学習指導要領の趣旨に則って、わかる授業づくりに努め、基礎的基本的な学力の定着を図るとともに、児童が主体的に学ぶ授業づくりに取り組み、これからの時代を生きるための資質・能力を育む学校。

(2) 組織的に学校運営を推進する学校

①教職員一人ひとりの考えを大切にし、共通理解をもって一致して指導にあたる。

②支援教育について理解を深め、その充実を図る。

③校内研究を推進し授業改善に努め、指導法を工夫した授業展開を進める。

④教育課程の充実(※1)に向け、グループ制(※2)を充実させて取り組む。

⑤学校評価についての理解を深め、教育活動に活かす取り組みを進める。

⑥教育環境の整備・充実を図り、その有効活用に努める。



(3) 保護者・地域から信頼される学校

- ① 保護者との連絡を密にし、信頼関係の構築に努める。
- ② 地域の人材・教育力の活用に努め、授業の充実（特に体験活動・「総合的な学習の時間」の充実）を図る。
- ③ 教育相談コーディネーターを中心に関係機関と連携・協力し、児童の健全育成を図る。
- ④ 学校運営協議会等、地域との情報交換を密にし、コミュニティスクール化を推進する。
- ⑤ PTAとの連携・協力を深める。

4. 今年度の重点目標

- ◆ これからの時代を生きるための資質・能力を育む、探究的な授業への工夫改善を図る。
 - ◆ 組織的な学校運営に向け、グループ制（※2）の活性化に取り組む。
 - ◆ 保護者との信頼関係構築に努め、家庭・地域と協力してコミュニティスクール（※3）化を進める。
 - ◆ 小中一貫教育へ向けて、9年間を意識して子どもの育ちや学びを見つめ、教育課程の充実（※1）を図る。
- （※1）「カリキュラム・マネジメント」と呼ばれています。
（※2）教職員の校務分掌機構を改革する取組です。
（※3）コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）は、学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組みです。

◇ ◇ 高学年における交換授業について ◇ ◇

葉山小では、学年全体で児童の学力向上を図り、また児童をより良く理解していくという観点から、思春期に入る高学年において担任同士による交換授業を実施しています。具体的には教科○を担当Aが他のクラスにも教え、教科△を担当Bが他のクラスに教えるという交換授業です。このことにより専科も含めた複数の教員が一つのクラスに関わることとなり、より多くの目で一人ひとりの児童を支援することが可能となります。

☆ 学習評価・通知表「のびていく子」について ☆

学習指導要領では、子どもたちに育てるべき資質・能力として「知識・技能の習得」、「思考力・判断力・表現力等の育成」、「学びに向かう力、人間性等の涵養」の3つの要素に整理しています。これに基づき、本校通知表「のびていく子」も、この3観点でお子様の学校での様子を各学期ごとにお知らせしています。また年度末の評価については、3つの学期の上記評価に加えて、年間を通した評価・評定をお知らせしています。学習評価の詳細についてご質問等があれば、各担任までお申し出ください。



保護者の方へお願い

<コロナに係る対応の緩和について>

コロナ禍において欠席連絡は「電話」としておりましたが、今後欠席連絡は従来通り「連絡帳」を基本にお願い致します（状況によって電話でも構いません）。また、ご家庭での登校前検温（健康観察表）は、今後、必要ありません。

<怪我防止のための装飾品自粛や爪切り等のお願い>

休み時間を含め学校生活全般において、お子さん自身や周囲に対する怪我予防のため、学習に必要な装飾品等の自粛（例：ピアスは場合によっては、耳が引き裂けてしまう等の不慮の危険も考えられます）、爪を切る等にご協力をお願いいたします。学校では体育・水泳の時間に、髪留めを外す、長い髪は結ぶ等の安全指導をしております。何卒ご理解の程お願いいたします。

<お詫びと訂正>

学校だより第1号で、吉田俊也教諭の異動先が「長柄小」となっておりましたが、正しくは「一色小」の誤りです。また、3年2組と3組の担任名が入れ替わって記載されているプリントがありました。2組は鈴木、3組は古川が担任となります。お詫びして訂正させていただきます。